

旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 54)
令和元 (2019) 年 10 月 1 日発行

今月は、6 名の方からの投稿です。

おはぎづくり

無心にこねて

ハガマ底抜く

(HN)

謎かけ

・「父ちゃん、パンツ破けちやったよお」と、言ったとかけて

何か有ったのか?と、訊き返したと解く

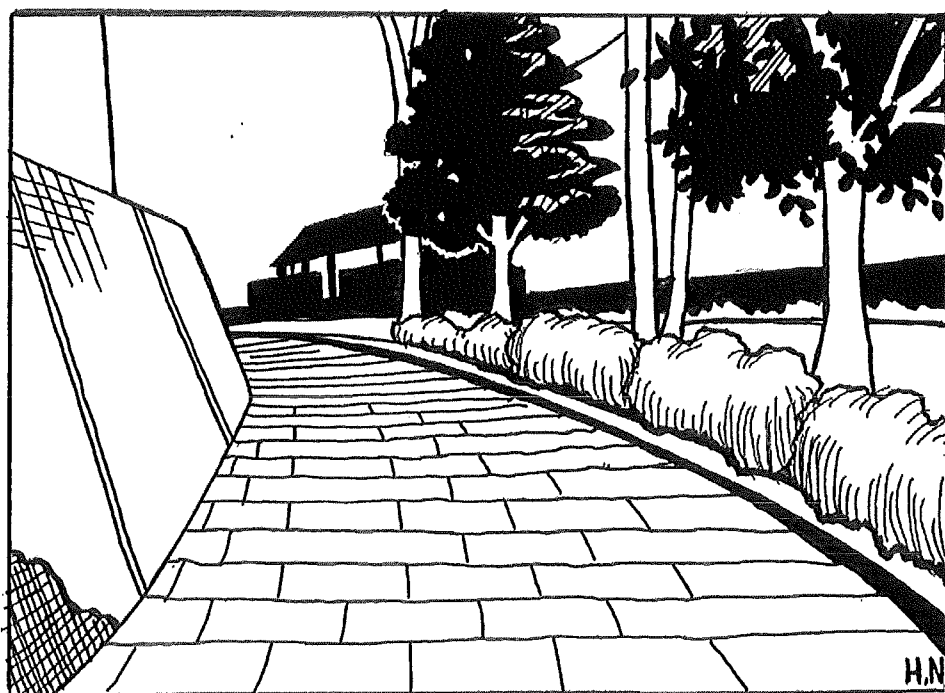
その心は? 「そう言う時は、またかい? って言うんだよ!」。

・まほろば・なかよしの職員の方々・利用者の方々にかけて

島倉千代子さんのヒット曲と解く

その心は? 人生いろいろです。

(岡本 祐子)



島根県浜田市小学校時代 〈その2〉

皆が喜ぶ顔が見たくて、珠算を Y.O.兄さんに習っていた。ちなみに、兄さんは、そろばん塾をしていたが、京都大学理学部を卒業され、英語も教えているという方で、僕はその頃から京都大学に憧れがあったと思う。僕は作家になリたかったのだ。小説を書いて、島根の人々を幸せにしたいと思っていた。

(YY)



- ・学者は何かあるとすぐ本を読む。
- ・本ばかり読んで経験を積もうとしないから、新しい問題に対処出来ない。
- ・自分で考えた理論すら自分で実行出来ない。
- ・ゼロから考えられるのは経営の醍醐味だ。
- ・従って偉い医学部の教授がクリニックを開業しても、病院に出来ないわけだ。
- ・従って経営学者が教員を辞めず、大学に残って教えるしかなく、その教え子も銀行に入って評論家をするわけだ。
- ・日本は評論家が出世して、実践家はその理論しか知らない幼稚な経営者に使われている。
- ・不景気は人が作っているのに、政策でカバーしても意味がない。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、10月15日(火)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.